取扱説明書

Xactiライブラリ 機能編

Xactiライブラリとは

- 「Xactiライブラリ」とはXactiライブラリ機能を搭載したカメラに外付けハードディスク（市販品）を接続して、カメラ内の記録ファイルを外付けハードディスクにコピーしたり、外付けハードディスクにコピーしたハイビジョン画質の画像を撮影した時の画質でテレビで見ることができる機能です。
- ご使用になるカメラがXactiライブラリ機能搭載しているかは、カメラの取扱説明書をご覧ください。
- 接続できるハードディスクは、この説明書の33ページ「仕様」をご確認ください。
- この説明書に記載しているカメラや外付けハードディスクのイラストは、お使いの機器とは形状が異なる場合があります。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
別冊の**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

本書の読みかた

本書は、Xacti ライブラリの使いかたを以下のように分類して説明しています。

ご使用になる前に、しなければならないことや、ぜひ知っておいていただきたいことを説明しています。

カメラとハードディスクの間でファイルをコピーする方法を説明しています。

カメラやハードディスクのファイルを再生する方法を説明しています。

Xacti ライブラリのアルバム機能でハードディスク内のファイルを整理する方法を説明しています。

Xacti ライブラリの機能詳細を記載しております。

この説明書では、次の記号でお知らせします。

もう少し詳しい説明や、操作上の注意事項

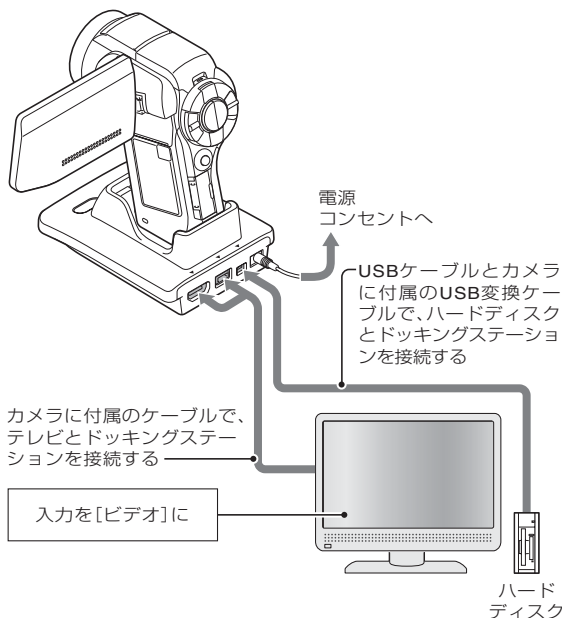
特に注意していただきたい事項

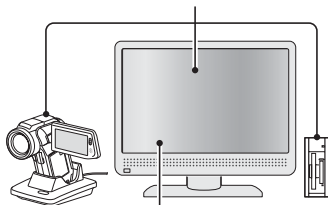
[P　]　参照ページ

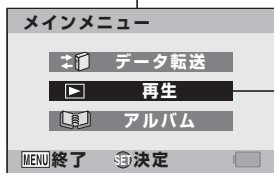
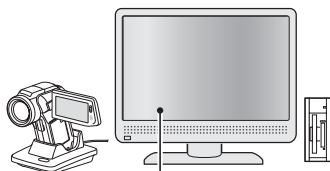
Xactiライブラリを使ってみよう

準備する

1 ドッキングステーションにテレビとハードディスクを接続し、ドッキングステーションにカメラを装着します。

※カメラおよび各機器は、電源を切った状態で接続してください。

カードのファイルをコピーする

2 カメラに装着しているカードのファイルをハードディスクにコピーします。

・カメラからハードディスクへ、ファイルのコピーを開始します。
・コピーが終わったら、[SET]ボタンを押してください。

再生する

3 ハードディスクにコピーしたファイルを再生します。

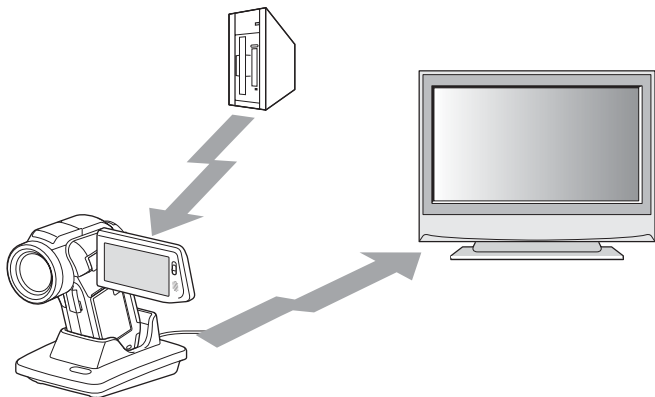
・後の操作は、カメラでの操作と同じです。
・使い終わったら、カメラの電源を切ってから、カメラをドッキングステーションから取りはずしてください。

もくじ

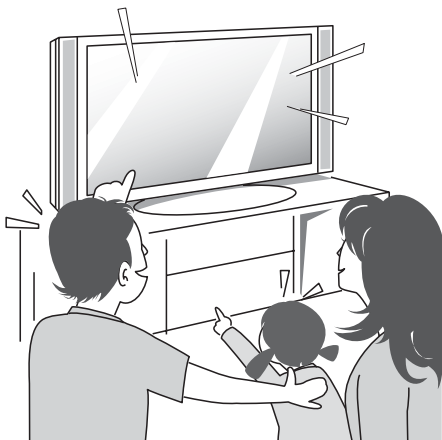
Xactiライブラリの楽しみかた

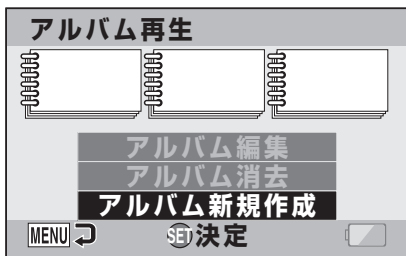
Xacti ライブラリは、カメラのカードに格納しているファイルをパソコンを使うことなく大容量ハードディスクに保存し、管理 / 再生するシステムです。

カメラへ、ハードディスクへ、ファイルをかんたんコピー

カメラで記録したファイルをハードディスクに、またハードディスクのファイルをカメラに装着したカードにコピーできます。

Xactiライブラリの楽しみかた(つづき)

撮った画像を高画質のまま再生

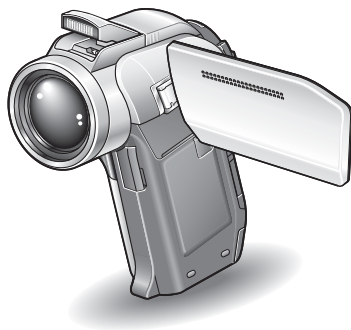
ハードディスクのファイルを直接テレビに出力するため、撮影した動画クリップの画質を落とすことなく再生することができます。また、カードのファイルも再生できます。

アルバム機能でファイルを管理

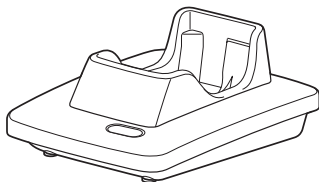
アルバムには、任意のファイルを登録することができます。ロール単位でコピーしたファイルの中から必要なファイルを選んでアルバムに登録することで、ファイルの検索性が向上します。

- 「ロール」とは、フィルムカメラのフィルムを指し、フィルム1本を1ロールと言います。デジタルカメラの場合、記録したファイルはカード(または内蔵メモリ)に保存するため、1枚のカード(または1つの内蔵メモリ)を1個のロールと言います。例えば､ロール単位のコピーでは、カメラのすべてのファイルをハードディスクにコピーします。

機器をそろえる

Xacti ライブラリで必要になる機器は、以下のとおりです。

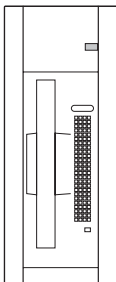
カメラ

お手持ちのカメラが Xacti ライブラリ機能を搭載しているかについては、カメラの取扱説明書をご覧ください。

ドッキングステーション

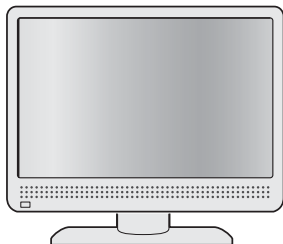
カメラに付属のドッキングステーションを使います。

リモコン

カメラに付属のリモコンを使います。

ハードディスク

USB 2.0High-Speed 対応の USB 端子を装備しているハードディスクです。対応しているハードディスクについては、33 ページと弊社ホームページを参照してください。
http://www.sanyo-dsc.com/

機器をそろえる（つづき）

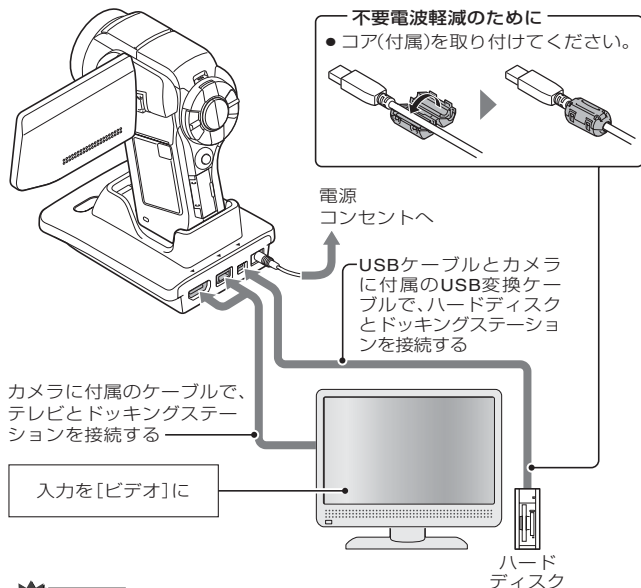
テレビ

フルハイビジョン対応のテレビをご用意いただくと、フルハイビジョンで撮影した動画クリップを本来の画質で楽しむことができます。

その他

- ドッキングステーションとテレビを接続するケーブル（例：S-AV 接続ケーブル、D 端子接続ケーブル、HDMI ケーブルなど）
- ドッキングステーションとハードディスクを接続するケーブル（例：USB 接続ケーブル、USB 変換ケーブルなど）

などが必要です。

接続する

各機器を接続します。
※カメラおよび各機器は、電源を切った状態で接続してください。

注意!

取りはずす時の注意

- Xactiライブラリ使用中に、ドッキングステーションからカメラをはずしたり、USBケーブルをはずさないでください。メディアへのアクセス中にUSBケーブルをはずすと、メディア内のファイルが破損する恐れがあるばかりではなく、メディアをフォーマットしなければならない場合があります。
- カメラの取りはずしは、必ず、カメラの電源を切ってから行なってください。電源を切る操作で、 ドライブを正常に取りはずすことができます。

Xactiライブラリを起動する

各機器の接続が終わったら、Xacti ライブラリを起動します。
Xacti ライブラリの操作は、カメラのボタンでもできますが、テレビ画面を見ながらリモコンで操作されることをおすすめします。
以降の操作は、リモコンを使って説明します。

1 テレビ→ハードディスク→カメラの順で電源を入れる

- カメラの電源を入れると、Xactiライブラリのメインメニューが出ます。

[データ転送]：ファイルをコピーします[P10・11]。

[再生]：ファイルを再生します[P17・20]。

[アルバム]：アルバムを作成・編集または再生します[P21・26]。

- 初めてXactiライブラリに使用するハードディスクの場合は、ライブラリを作成する確認画面が出ます。この場合は、操作 2 へ進んでください。

メインメニュー
データ転送
再生
アルバム
MENU 終了　SET 決定

<メインメニュー>

2 [作成] を選び、[SET] ボタンを押す

- ライブラリを作成し、メインメニューが出ます。

- 自動的に電源をON/OFFできるハードディスクの場合、カメラの電源操作によって、自動的にハードディスクの電源もON/OFFします。

カードからハードディスクにコピーする

カメラに装着したカード内のファイルをハードディスクにコピーします。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [データ転送] を選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

3 [転送開始] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルのコピーを開始します。
- コピーが終わったら、[SET] ボタンを押してください。

ハードディスクからカードにコピーする

ハードディスク内のファイルをカメラに装着したカードにコピーします。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [データ転送] を選び、[SET] ボタンを押す

● データ転送画面が出ます。

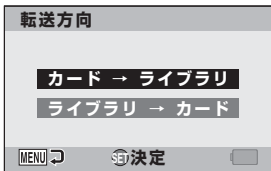
3 [転送設定] を選び、[SET] ボタンを押す

● 転送設定画面が出ます。

4 [転送方向] を選び、[SET] ボタンを押す

● 転送方向の設定画面が出ます。

[ライブラリ→カード]：
ハードディスクのファイルをカードにコピーします。

[カード→ライブラリ]：
カードのファイルをハードディスクにコピーします。

5 [ライブラリ→カード] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。
- コピーするロールを選ぶ画面が出ます。

6 コピーするロールを選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。

7 [転送開始] を選び、[SET] ボタンを押す

- ファイルのコピーを開始します。
- コピーが終わったら、[SET] ボタンを押してください。

ヒント

- データ転送方向は、メインメニューで[データ転送]を選んで[SET]ボタンを押すと、自動的に[カード→ライブラリ]になります。

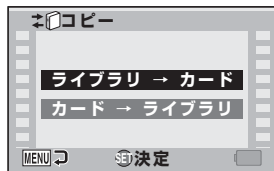
ファイル単位でコピーする

コピーするファイルをテレビまたはモニターで確認し、1 個ずつコピーすることができます。

1 再生画面が出ている時に [MENU] ボタンを押し、NORMALモード再生メニュータブ2 の[コピー] を選んで、[SET] ボタンを押す

- コピー画面が出ます。

[ライブラリ→カード]：
ハードディスクのファイルをカードにコピーします。

[カード→ライブラリ]：
カードのファイルをハードディスクにコピーします。

2 コピーするファイルを表示する

3 コピー方向を選び、[SET] ボタンを押す

4 [コピー] を選び、[SET] ボタンを押す

- コピーを開始します。

ファイルを消去するには

- ファイルの再生画面で消去の操作を行ってください。ファイルを消去する操作は、カメラでファイルを消去する操作と同じです。
- カードからハードディスクへファイルをコピーする時、同時にコピー元のファイルを消去することもできます[P15]。

フォーマットについて

- Xactiライブラリではハードディスクやカードのフォーマットはできません。

コピー動作を設定する

コピーの方向やコピー後のファイルの処理を設定します。

転送設定画面を出す

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [データ転送] を選び、[SET] ボタンを押す

- データ転送画面が出ます。

3 [転送設定] を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面が出ます。

コピー動作を設定する（つづき）

コピー後のファイルの処理を設定する

コピー後、コピー元のファイルを消去する / しないを設定します。

1 転送設定画面を出す [P14]

2 [転送後消去] を選び、[SET] ボタンを押す

- コピー後、コピー元のファイルを消去する/しないを選ぶ画面が出ます。

3 コピー後のファイルの処理を選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。

ヒント

- コピー後にコピー元のファイルを消去する設定ができるのは、ファイルをカードからハードディスクにコピーする場合だけです。ハードディスクからカードへコピーする場合、コピー元のファイルを消去することはできません。

ファイル情報表示を設定する

データ転送画面のカードやハードディスク内のファイル数や使用容量、ライブラリに使える空き容量表示を設定します。

1 転送設定画面を出す
[P14]

2 [情報表示] を選び、[SET] ボタンを押す

- 情報を表示するメディアを選ぶ画面が出ます。

3 情報を表示するメディアを選び、[SET] ボタンを押す

- 転送設定画面に戻ります。

ハードディスクのファイルを再生する

Xacti ライブラリのコピー機能でハードディスクにコピーしたファイルを再生します。
ハードディスクにコピーしたファイルをロール単位で再生します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの[再生]を選び、[SET] ボタンを押す

- 再生するメディアや方法を選ぶ画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

3 ロールタブまたはカレンダータブを選ぶ

ロール単位で再生する：
ロールタブを選ぶ

ハードディスクにコピーした日付を指定して再生する：
カレンダータブを選ぶ

4 [SET] ボタンを押す

5 再生するロールまたは日付を選び、[SET]ボタンを押す

- ファイルを再生します。
- 以降の操作は、カメラでの再生と同じです。

再生 2007.12

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

MENU 選択 SET決定

<ロールを選択する画面が出た場合は>

- 指定した日付に複数のロールがある場合は、ロールを選択する画面が出ます。再生するロールを選び、[SET]ボタンを押してください。

Xactiライブラリの画面に戻るには？

- 9画面マルチ表示画面で[W/]ボタンを2回押すと、操作 5 の画面になります。

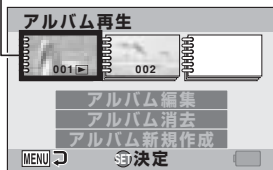
アルバムを再生する

アルバム [P21・26] に登録しているファイルを再生します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [アルバム] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム再生画面が出ます。

オレンジ色の枠

3 再生するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- アルバムに登録したファイルをスライドショー再生します。
- スライドショー再生を終了するには、何かボタンを押してください。

カメラのファイルを再生する

ドッキングステーションに装着したカメラのファイルを再生します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの[再生]を選び、[SET]ボタンを押す

- 再生するメディアや方法を選ぶ画面が出ます。
- [MENU]ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

カメラタブ

3 カメラタブを選び、[SET] ボタンを押す

- カメラに装着しているメディアが出ます。

4 再生するメディアを選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだメディアの先頭ファイルを再生します。
- 以降の操作は、カメラでの再生と同じです。

Xactiライブラリの画面に戻るには？

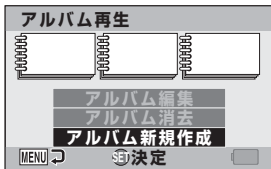
- 9画面マルチ表示画面で[W/]ボタンを2回押すと、操作 3 の画面になります。

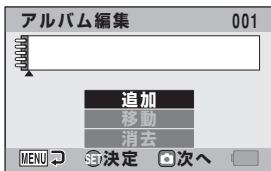
アルバムを新規作成する

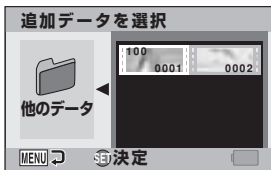
異なる日付に記録したファイルや異なるロールのファイルを登録し、アルバムを作成します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [アルバム] を 選 び、[SET] ボタンを押す

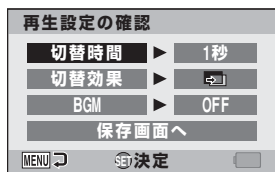
- アルバム再生画面が出ます。

3 [アルバム新規作成] を選 び、[SET] ボ タ ン を押す

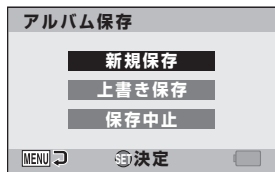
- アルバム編集画面が出ます。

4 [追加] を選んで、[SET] ボタンを押す

- 追加データを選択する画面が出ます。

5 アルバムに登録するファイルを選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだファイルをアルバムに登録し、アルバム編集画面に戻ります。

6 [ ] ボタンを押す

- 再生設定の確認画面が出ます。
  再生設定を変更する→[P25]

7 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

8 [新規保存] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

アルバムを新規作成する(つづき)

他のフォルダ/ロールのファイルを登録する場合

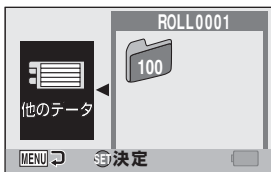
1 21 ページの操作 4 の画面で [他のデータ] を選び、[SET] ボタンを押す

- フォルダを選ぶ画面が出ます。

<フォルダを選ぶ場合>

❶目的のフォルダを選んで、[SET]ボタンを押す
  - 追加ファイル選択画面が出ます。
- 操作 4 へ進んでください。

<ロールを選ぶ場合>

- 操作 2 へ進んでください。

2 [他のデータ] を選び、[SET] ボタンを押す

- ロールを選ぶ画面が出ます。

3 ロールを選び、[SET] ボタンを押す

- フォルダを選ぶ画面が出ます。

4 目的のフォルダを選んで、[SET] ボタンを押す

- 追加データを選択する画面が出ます。
- 以降の操作は、[P22]操作 5～8 と同じです。

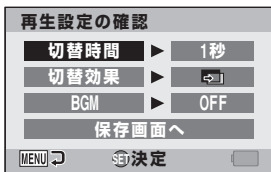
アルバムを新規作成する(つづき)

再生設定の確認(スライドショー設定)

再生設定の確認画面では、アルバムの再生を設定することができます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[BGM]：静止画再生中に鳴らす音楽を設定します。

<再生設定の確認画面>

設定を変更する場合

1 設定を変更する項目を選び、[SET] ボタンを押す

- 設定を変更する画面が出ます。

2 設定を選び、[SET] ボタンを押す

再生設定の確認
切替時間 ▶ 1秒
MENU
SET決定

<[切替時間]を選んだ場合>

3 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

アルバムを編集する

作成済みのアルバムにファイルを追加したり、登録済みのファイルを消去することができます。また､アルバム内のファイルの位置を移動して、再生順序を変更したり、再生の設定を変更することもできます。

アルバムにファイルを追加する

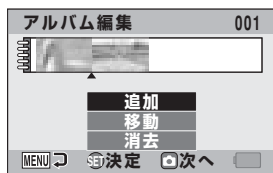
作成済みのアルバムにファイルを追加登録します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

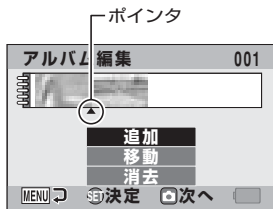
2 メインメニューの [アルバム] を 選 び、[SET] ボタンを押す

- アルバム再生画面が出ます。

3 [アルバム編集] を選び、ファイルを追加するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集画面が出ます。

アルバムを編集する(つづき)

4 [追加]を選び、ファイルを追加する位置にポインタを合わせ、[SET]ボタンを押す

- 追加ファイル選択画面が出ます。
- 他のフォルダ/ロールのファイルを選ぶ場合→P23

5 アルバムに追加するファイルを選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだファイルを移動し、アルバム編集画面が出ます。

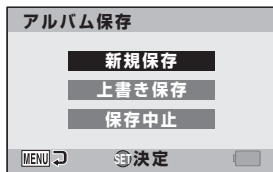
6 [📷] ボタンを押す

- 再生設定の確認画面[P25]が出ます。

7 [保存画面へ]を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。

8 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

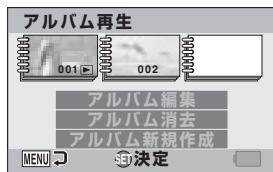
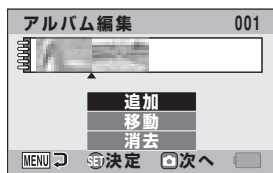
- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

アルバムのファイルを移動する

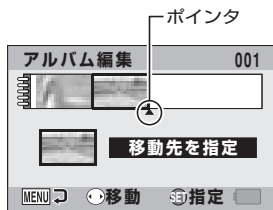
アルバム内のファイルを移動します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [アルバム] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム再生画面が出ます。

3 [アルバム編集] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム編集画面が出ます。

4 [移動] を選び、移動するファイルにオレンジ色の枠を合わせ、[SET] ボタンを押す

- ファイルの移動先を指定する画面が出ます。

5 移動先にポインタを合わせ、[移動先を指定] を選び、[SET] ボタンを押す

- 選んだファイルを移動し、アルバム編集画面に戻ります。

6 [📷] ボタンを押す

- 再生設定の確認画面[P25]が出ます。

7 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。

アルバム保存
新規保存
上書き保存
保存中止
MENU ↩　SET 決定

8 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

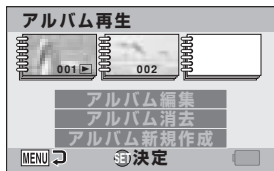
- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

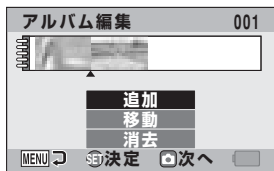
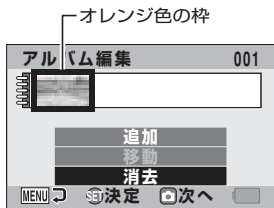
アルバムのファイルを消去する

アルバムに登録済みのファイルをアルバムから消去（登録削除）します。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [アルバム] を 選 び、[SET] ボタンを押す

● アルバム再生画面が出ます。

3 [アルバム編集] を選び、[SET] ボタンを押す

● アルバム編集画面が出ます。

4 [消去] を選び 、消去するファイルにオレンジ色の 枠 を 合 わ せ、[SET] ボタンを押す

アルバムを編集する(つづき)

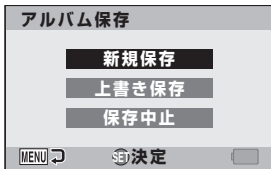
5 [📷] ボタンを押す

- 再生設定の確認画面[P25]が出ます。

6 [保存画面へ] を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバム保存画面が出ます。

[新規保存]：編集後のアルバムを新しいアルバムとして保存します。

[上書保存]：元のアルバムを消去して、編集後のアルバムだけを保存します。

7 保存方法を選び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを保存し、アルバム再生画面に戻ります。

ヒント

アルバムが保存できない？

- アルバムに登録しているファイルをすべて登録解除すると、操作5以降の操作ができなくなり、アルバムを保存することができなくなります。アルバムのファイルをすべて登録解除する場合は、アルバムを消去してください[P32]。

アルバムを消去する

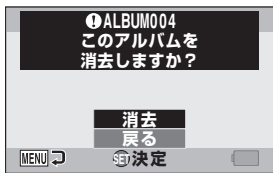
消去したアルバムは復活できません。消去する前に、十分にアルバムの内容を確認してください。

1 Xacti ライブラリを起動する [P9]

2 メインメニューの [アルバム] を 選 び、[SET] ボタンを押す

- アルバム再生画面が出ます。

3 消去するアルバムにオレンジ色の枠を合わせ、[アルバム消去] を選んで [SET] ボタンを押す

- アルバム消去の確認画面が出ます。

4 [消去] を 選 び、[SET] ボタンを押す

- アルバムを消去し、アルバム再生画面に戻ります。

消去したアルバム内のファイルは？

- アルバムを消去しても、元のファイルは残ります。ファイルの消去は、ファイルの再生画面から行なってください。

仕　様

Xactiライブラリに使えるハードディスク

Xacti ライブラリで使用するハードディスクは、以下の条件を満たしているものです。

● USB2.0 に対応していること
USB1.x 対応のハードディスクは使用できません。

● 電源を自己供給できるもの
USB ケーブルから電源を取る（バスパワー方式）ハードディスクは使用できません。

● バックアップをとってください
保存したファイルにアクセスできなくなるなど、ハードディスクのトラブルに備えて、Xacti ライブラリに使用しているハードディスク内のファイルは DVD などにコピーしておくことをおすすめいたします。
万一、ハードディスクのトラブルでファイルを消失しましても、当社では責任を負いかねます。

● FAT32 形式で初期化したハードディスクのみ
Xacti ライブラリで使えるハードディスクは、FAT32 形式で初期化したハードディスクのみです。他の形式で初期化したハードディスクは使えません。

● パーティションが複数ある場合は
なるべくシングルパーティションのハードディスクを使ってください。複数のパーティションがある場合は、優先順位の高いパーテションのみ使えます。他のパーテションは使えません。例えば、1 台のハードディスクに D：と E：のパーテションがある場合、Xacti ライブラリが使えるのは「D：」のみです。

ハードディスクのディレクトリ構造

付録
仕様